

防水・土間材〈WPD〉の施工方法 標準施工厚：10mm

WPD

適合下地…… コンクリート、モルタル

⚠ 施工厚が厚いため、乾燥に時間がかかります。完全乾燥前に凍結や雨に当たらないよう配慮してください。

1 シーラー塗布

全面に水性シーラーを塗布し、下地への水引きを抑えてください。

乾燥

2 下塗り

下塗材〈NGU〉を塗ってください。
(標準施工厚：1mm)
下塗りで平らな面を作っておくことが、仕上材をきれいに塗るためのポイントです。

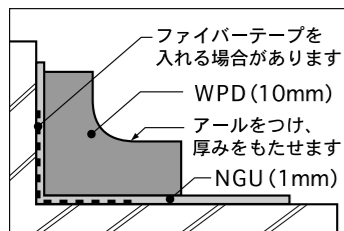
乾燥

防水材として施工

3 仕上げ塗り

仕上材を塗ってください。
(標準施工厚：10mm)

硬めに水練りした材料を施工し、コテ圧をかけて十分に押さえ、材料を締めこんでください。



土間材として施工

3 仕上げ塗り

仕上材を塗ってください。
(標準施工厚：10mm)

コテ圧をしっかりかけ、空隙が生じないように施工してください。

仕上げ塗りの要領は26ページ参照

⚠ 注意

軽歩行用のため、モルタルほどの強度はありません。局部的に強い摩擦が繰り返されるような場所(イスの脚などで強い摩擦が繰り返される事務所内やレストランなど)には使用できません。

2～3ページの「施工環境に配慮を」をご参照の上、施工環境に十分ご配慮ください。

断熱・防露材〈STU〉の施工方法 標準施工厚：5mm～

STU

適合下地…… コンクリート、モルタルなど

珪藻土壁材〈エコ・クィーン〉は弾力性がありません。施工前に下地に動きがないか確認の上、施工してください。

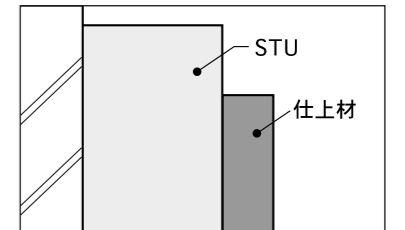
1 施工面に水性シーラー塗布

コンクリート下地、および、モルタル下地など吸水する下地の場合には水性シーラーを塗布し、下地への水引きを抑えてください。

乾燥

2 STUを施工

〈STU〉を施工してください。
(標準施工厚：5mm以上)
硬めに水練りした材料を施工し、コテ圧をかけて十分に押さえ、材料を締めこんでください。



乾燥

(下塗材で不陸調整)

不陸が大きい場合は、下塗材〈NGU〉を塗って平らな面を作ってください。
平らな面を作っておくことが、仕上材をきれいに塗るためのポイントです。

乾燥

3 仕上げ塗り

外壁材、内壁材などの仕上げをしてください。

2～3ページの「施工環境に配慮を」をご参照の上、施工環境に十分ご配慮ください。